

不審に思ったら相談を

「安全・安心まちづくり」益城町集会を開催



事故の特徴を話す園田氏

や、自分を知ることが事故から身を守ることにつながることなどを話しました。

さらに御船署刑事・生活安全課の森山功氏が、「振り込め詐欺について」と題し、高齢者が狙われやすい「振り込め詐欺」の中でも「オレオレ詐欺」や「投資を勧誘する詐欺」の犯罪手口を紹介。「うまい話ではない。まず疑いを持ち、不審に思ったら家族や警察に相談してほしい」と注意を促しました。

交通事故や犯罪のない明るい町をつくろうと2月7日、ミナテラス(交流情報センタ)で「安全・安心まちづくり」益城町集会が行われました。

集会には、町嘱託員や婦人会、老人クラブ連合会、民生委員・児童委員など約180人の参加がありました。

住永町長のあいさつの後、御船警察署の緒方幸治署長が管内の交通死亡事故や実際にあった事件を交えてあいさつを行いました。

また、御船署交通課の園田徳治氏が「高齢者の交通安全について」と題し、事故の現状と特徴について講演。75歳以上の歩行者が道路横断中に事故に遭う危険性が高いこと



振り込め詐欺の講話を聞く参加者

木の玩具に親しんで

上益城地域木材需要拡大推進協議会から

1月21日、上益城地域木材需要拡大推進協議会から、あじさい保育園(安永、中村佳代園長)と町立第1保育所(福富、谷川淳子所長)へ、ヒノキの木製玩具が贈られました。

環境への理解を深め、木材需要の拡大を図ろうと同協議会が毎年取り組んでいるものです。「木のおもちゃは温かみがあるので、子どもたちの『知育』の面で活かしていきたい。大切にに使わせていただきます」と中村園長は喜んでいました。



「お年玉」として贈られた木製玩具

ワクチンを世界の子どもたちへ

エコキャップ収集活動に自衛隊曹友会が協力

ペットボトルのエコキャップを収集し、ワクチンに替え、世界の子どもたちに寄贈する活動を行う木山中学校ボランティア委員会。

1月21日、その活動に活かしてほしいと、陸上自衛隊高遊原分屯地曹友会(古

田貴士会長)から、高遊原分屯地で収集した約53kgのエコキャップが贈られました。

受け取った同委員長の小田寛樹君(2年)は「毎年たくさんのお礼をいただきます」とお礼を述べました。



エコキャップを受け取る小田君